

【国語科】

1 昨年度の授業改善推進プランの検証・評価

- 読むことについては、音読や読書、読み聞かせ、読み解きタイムなどを継続的に行うことで、物語や小説などの読み物を読むことに児童の意欲が高まった。また、説明的文章の要点を押さえ、高学年では、要旨を100から150字程度にまとめる学習（読み解きタイム等）に取り組み、事実と自分の考えを区別しながら、読み取ったことを表現する力を高めている。
- 話すこと聞くことについて、話し合う活動では、感想や意見などを区別してメモを取りながら話を聞いたり、自分の考えをまとめた上で意見交流をしたりする学習を大切にすることで、相手の話の中心を捉えて聞いたり、互いの意見の共通点や相違点に着目して、自分の考えをまとめたりすることができるようになってきている。また、今年度は思考ツールを活用していくことで、自分やグループ等の考えを整理する力がつくことをねらっている。確かな力を身に付けさせるために、他教科との関連を図り、実践の場を多く取り入れ、低学年から継続して指導していく必要がある。
- 書くことについては、ICT機器を活用しながら、低学年からノート指導を丁寧に行い、教師が継続的に添削したり評価したりすることで、意欲が高まり、分かりやすく書いたり自分の思いや考えを表したりすることのできる児童が多い。

2 今年度の調査結果の分析と結果に基づく課題

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---------|---|--|--|
| 調査結果の分析 | 知識・技能は、どの学年も目標値及び全国、区の平均正答率を大きく上回っている。日頃から文字の形に気を付けて漢字を正しく読んだり書いたりする習慣が身に付いている。 | 思考・判断・表現は、どの学年も目標値及び全国、区の平均正答率を大きく上回っている。特に、どの学年も話し合いの内容を聞き取る力や物語文及び説明文の内容を読み取る力が身に付いている。しかし、相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にする力に課題がある。 | 日頃から進んで国語や漢字辞典を使って言葉の意味を調べたり、読書に親しんだりすることができている。また、授業で問題（課題やめあて）と振り返りを書くことを習慣づけることで学習の見通しをもつて取り組むことができている。 |
| 課題 | どの領域においてもバランスよい学力を身に付けているが、文章を書くことに関して、相手や目的を意識して伝えたいことを明確にすることや自分の考えを明確にして文章の構成を書く活動において、個人差が見られる傾向にあった。国語科と他教科との関連を図り、話の構成を考えながら自分の考えを書く活動を取り入れながら書く力を身に付けていく必要がある。 | | |

3 授業の具体的な改善策

| | |
|-----------------|---|
| 教科目標 | <p>学習指導要領の教科の目標</p> <p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。</p> <p>(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p> |
| 全体 | <p>主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声言語の教材を活用したり教師が文章を読んだりして、内容を聞き取り、メモを取る練習をする。実際の場面で主体的に聞く練習をし、聞いたことをまとめたり、それに対する自分の考えを書いたりするという活動を取り入れる。 ・互いの考えの共通点や相違点を考えながら聞いたり話したりする力や、自分の立場や意図をはっきりさせながら話し合う力を身に付けさせることを意識させる。グループや学級全体で話し合う活動を意図的に設定し、コミュニケーション力の向上を図る。 |
| 学年段階別改善策 | |
| 低学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達の話をしっかり聞き、話の内容に自分の思いや考えをもつことができるようにする。また、話すときには、身近なことや経験したことなどについて、話す事柄の順序を考えて、話すことができるようにする。 ・話し合いの後は、自分の考えを書く活動を日常の学校生活の中に取り入れ、定着を図る。 |
| 中学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動では、話し手への質問や感想を述べる機会を設け、自分なりの考えを相手に伝える活動を取り入れる。 ・読み解きタイムや理科、SC科など他教科の中でも、情報を基に自分の考えをまとめて書く活動を取り入れる。 ・教師や友達、家族の話聞き取ってメモを取る練習をする。聞いたことをまとめ、文章にできるようにする。 |
| 高学年 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な相手や場面での話の内容をメモしながら聞いたり、自分の意見を書いたりする。 ・互いの考えを伝え合うために、自分の立場をはっきりさせ、自分の考えと比較しながら共通点や相違点、関連して考えたことを整理して聞いたり、相手の話を受けて自分の考えを話したりすることができるようにする。 ・社会科や理科、総合的な学習の時間、SC科など他教科、さらには、委員会などの児童会活動の中でも、引き続き、話し合う活動を取り入れ、情報を基に考えをまとめて書く活動を取り入れる。 |